

傷病名マスターファイル仕様説明書

I マスターファイル仕様

1 ファイル形式

各項目を二重引用符 (“) で囲み、カンマ (,) で区切ったCSV形式のテキストファイル。

2 ファイル構成

- ① 傷病名ファイル (ファイル名 : b_YYYYMMDD.txt)
- ② 旧傷病名管理ファイル (ファイル名 : hb_YYYYMMDD.txt)

3 傷病名マスターのファイル項目説明

項番	項目名	モード	最大バイト	項目形式	項目内容説明
1	変更区分	数字	1	固定	マスター内容の異動状況を表す。 0 : 前マスター内容と同じであることを表す。 1 : 抹消 (マスターから削除する傷病名) 2 : 復活 (廃止傷病名の復活) 3 : 新規 (追加傷病名) 5 : 変更 (項目内容が変更されたことを表す) 9 : 廃止 (経過措置適用の傷病名)
2	マスター種別	英数	1	固定	「B」を収録している。 (傷病名マスターであることを表す。)
3	傷病名コード	数字	7	固定	レセプト電算処理システムの診療報酬請求用使用するコードである。 「ICD10対応標準病名マスター」における「病名基本テーブル」の「レセ電算コード」項目と同一内容である。
4	移行先コード	数字	7	固定	傷病名の異動関連を表す。 廃止傷病名は、対応する移行先傷病名の新傷病名コードを収録する。
5	傷病名基本名称桁数	数字	2	可変	「傷病名基本名称」の桁数を表す。
6	傷病名基本名称	漢字	60	可変	傷病名の表記標準化の基本名称とする。 「ICD10対応標準病名マスター」における「病名基本テーブル」の「病名表記」項目と同一内容である。 新JIS第2水準内のコードによる。
7	傷病名省略名称桁数	数字	2	可変	「傷病名省略名称」の桁数を表す。
8	傷病名省略名称	漢字	40	可変	レセプト電算処理用に21文字以上の傷病名を20文字以内に省略表記した傷病名である。(20文字以内傷病名は、「傷病名基本名称」と同一である。) 「ICD10対応標準病名マスター」における「病名基本テーブル」の「傷病名省略名称」項目と同一内容である。 新JIS第2水準内のコードによる。
9	傷病名カナ名称桁数	数字	2	可変	「傷病名カナ名称」の桁数を表す。
10	傷病名カナ名称	英数 カナ	100	可変	「傷病名基本名称」のフリガナを全角で収録(英字等の使用あり。) 「ICD10対応標準病名マスター」における「病名基本テーブル」の「病名表記カナ」と同一内容である。

項番	項目名	モード	最大バイト	項目形式	項目内容説明
11	病名管理番号	数字	8	固定	「ICD10対応標準病名マスター」の「病名基本テーブル」の記載項目と同一内容である。
12	採択区分	数字	1	固定	
13	病名交換用コード	英数	4	固定	
14	予備	英数	5	可変	未使用：省略
15	予備	英数	5	可変	
16	ICD-10-1(2013)	英数	5	可変	「ICD10対応標準病名マスター」の「病名基本テーブル」の記載項目と同一内容である。 なお、「ICD-10-1(2013)」には基礎疾患の分類番号を、「ICD-10-2(2013)」には症状発現の分類番号を収録している。(糖尿病性白内障を例に挙げれば、糖尿病のICD-10(E143)を「ICD-10-1(2013)」に、白内障のICD-10(H280)を「ICD-10-2(2013)」に収録している。)
17	ICD-10-2(2013)	英数	5	可変	
18	予備	英数	5	可変	未使用：省略
19	単独使用禁止区分	数字	2	固定	当該傷病名单独による使用を禁止する傷病名を表す。 00：下記以外 01：部位等修飾語との組合せが必須の傷病名 「ICD10対応標準病名マスター」における「病名基本テーブル」項目と同一内容である。
20	保険請求外区分	数字	1	固定	当該傷病名单独のレセプト表示等では、保険請求外の扱いとなる傷病名を表す。 0：下記以外 1：保険請求対象外の傷病名 「ICD10対応標準病名マスター」における「病名基本テーブル」項目と同一内容である。
21	特定疾患等対象区分	数字	2	固定	当該傷病名が特定疾患療養管理料等の算定対象であるか否かを表す。 00：算定対象外 03：皮膚科特定疾患指導管理料Ⅰ算定対象 04：皮膚科特定疾患指導管理料Ⅱ算定対象 05：特定疾患療養管理料算定対象 07：てんかん指導料算定対象 08：特定疾患療養管理料又はてんかん指導料算定対象
22	収載年月日	数字	8	固定	当該傷病名をマスターに収載した西暦年月日を収録。(西暦年4桁、月2桁、日2桁による。項目番号23、24において同じ。)
23	変更年月日	数字	8	固定	項目番号25～29、32～37、45及び46の対応する項目について、いずれかの内容に変更があった場合、当該内容が適用される西暦年月日を収録。
24	廃止年月日	数字	8	固定	当該傷病名を使用することが可能な最終日付け(経過措置の使用期限)の西暦年月日を収録。 廃止以外の傷病名は「99999999」を収録。
25	傷病名基本名称(変更情報)	数字	1	固定	当該項目に対応するいずれかの項目内容に変更があったことを表す変更情報フラグである。 0：当該項目に変更なし 1：当該項目に変更あり
26	傷病名省略名称(変更情報)	数字	1	固定	
27	傷病名カナ名称(変更情報)	数字	1	固定	
28	採択区分(変更情報)	数字	1	固定	
29	病名交換用コード(変更情報)	数字	1	固定	
30	予備	数字	1	固定	
31	予備	数字	1	固定	未使用：「0」を設定する。

項番	項目名	モード	最大バイト	項目形式	項目内容説明
32	歯科傷病名省略名称 (変更情報)	数字	1	固定	当該項目に対応するいずれかの項目内容に変更があったことを表す変更情報フラグである。 0 : 当該項目に変更なし 1 : 当該項目に変更あり
33	難病外来対象区分 (変更情報)	数字	1	固定	
34	歯科特定疾患対象区分 (変更情報)	数字	1	固定	
35	単独使用禁止区分 (変更情報)	数字	1	固定	
36	保険請求外区分 (変更情報)	数字	1	固定	
37	特定疾患等対象区分 (変更情報)	数字	1	固定	
38	移行先病名管理番号	数字	8	固定	廃止傷病名の移行先傷病名がある場合、移行先病名管理番号を収録。 「ICD10対応標準病名マスター」における「病名基本テーブル」項目と同一内容である。
39	歯科傷病名省略名称	漢字	40	可変	歯科領域の傷病名について歯科診療報酬明細書に使用できる略称を収録。 「ICD10対応標準病名マスター」における「病名基本テーブル」項目と同一内容である。
40	予備	英数	10	可変	未使用：省略
41	予備	数字	8	固定	未使用：省略
42	歯科傷病名省略名称桁数	数字	2	可変	「歯科傷病名省略名称」の桁数を表す。
43	難病外来対象区分	数字	2	固定	当該傷病名が難病外来指導管理料の算定対象であるか否かを表す。 00 : 算定対象外 09 : 難病外来指導管理料算定対象
44	歯科特定疾患対象区分	数字	2	固定	当該傷病名が歯科特定疾患療養管理料の算定対象であるか否かを表す。 00 : 算定対象外 10 : 歯科特定疾患療養管理料算定対象
45	ICD-10-1 (2013) (変更情報)	数字	1	固定	当該項目に対応するいずれかの項目内容に変更があったことを表す変更情報フラグである。 0 : 当該項目に変更なし 1 : 当該項目に変更あり
46	ICD-10-2 (2013) (変更情報)	数字	1	固定	

注1 「傷病名省略名称」は、傷病名表示等に文字数制限があるレセプト電算処理システムなどにも対応できることを考慮し、21文字以上の傷病名について、その基本名称の原表記を可能な限り留めて20文字内に省略し収録しています。

また、「歯科傷病名省略名称」は、歯科診療報酬明細書に使用が認められている略称又は「傷病名省略名称」と同一名称を収録しています。

診療報酬明細書に使用する傷病名は、次表を参考に利用者の任意で選択。

点数表	傷病名基本名称	傷病名省略名称	歯科傷病名省略名称
医科 (DPC)	○	○	×
歯科	○	○	○

※ ○は使用可、×は使用不可。

注2 「廃止年月日」は、廃止傷病名の使用期限を表し、経過措置期間を廃止後1年間としています。

注3 「ICD10対応標準病名マスター」の収録項目と同一内容の仕様説明書は、(財)医療情報システム開発センターのホームページ (<http://www.medis.or.jp>) から入手可能です。

4 傷病名マスターの異動関連説明

(1) 追加（新規）傷病名の場合

	変更区分	マスター種別	傷病名コード	移行先コード	傷病名基本名称	病名管理番号	病名交換用コード	廃止年月日	傷病名カナ名称 (変更情報)	移行先病名管理番号
新規	3	B	3333333	Null	(追加病名)	12345678	XXX9	99999999	0	Null

※1 追加傷病名には、意味付けを持たないユニークな新コード7桁の重複しない番号を設定しています。

※2 「病名管理番号」及び「病名交換用コード」は、「ICD10対応標準病名マスター」と同一コードを収録しています。

(2) 廃止傷病名に対応する新規傷病名がある場合

	変更区分	マスター種別	傷病名コード	移行先コード	傷病名基本名称	病名管理番号	病名交換用コード	廃止年月日	傷病名カナ名称 (変更情報)	移行先病名管理番号
廃止	9	B	7338012	8844645	尺骨骨折偽関節	20063563	G3FM	20090228	0	20091969



新規	3	B	8844645	Null	尺骨偽関節	20091969	G3FM	99999999	0	Null
----	---	---	---------	------	-------	----------	------	----------	---	------

※1 廃止傷病名（廃止レコード）については、「傷病名コード」には従前のコードを、「移行先コード」には対応する傷病名の新コードを、「廃止年月日」には当該傷病名の最終使用期限の年月日をそれぞれ収録しています。

なお、廃止傷病名（廃止レコード）の「移行先病名管理番号」には、対応する傷病名（新規レコード）がある場合は、その傷病名の「病名管理番号」を収録し、対応する傷病名がない場合は、空欄（Null）としています。

※2 追加傷病名（新規レコード）の傷病名コードについては、意味付けを持たないユニークな新コード7桁の重複しない番号を設定しています。

(3) 傷病名コード内容に変更がない場合

【前回改定時】

	変更区分	マスター種別	傷病名コード	移行先コード	傷病名基本名称	病名管理番号	病名交換用コード	廃止年月日	傷病名カナ名称 (変更情報)	移行先病名管理番号
新規	3	B	8844626	Null	1型糖尿病性水疱	20091936	V74D	99999999	0	Null



【今回改定時】

	変更区分	マスター種別	傷病名コード	移行先コード	傷病名基本名称	病名管理番号	病名交換用コード	廃止年月日	傷病名カナ名称 (変更情報)	移行先病名管理番号
変更なし	0	B	8844626	8844626	1型糖尿病性水疱	20091936	V74D	99999999	0	Null

※ 前回改定で新規追加となった傷病名でレコード内容に変更がない場合は、Nullとしていた「移行先コード」に傷病名コードと同じコードを収録します。

(4) 傷病名コード内容に変更がある場合

	変更区分	マスタ種別	傷病名コード	移行先コード	傷病名基本名称	病名管理番号	ICD-10-1 (2013)	変更年月日	ICD-10-1 (2013) (変更情報)	移行先病名管理番号
変更前	0	B	2280029	2280029	血管平滑筋腫	20060129	D180	Null	0	Null



変更後	5	B	2280029	2280029	血管平滑筋腫	20060129	D219	20170601	1	Null
-----	---	---	---------	---------	--------	----------	------	----------	---	------

※ 項目番号 25～29、32～37、45 及び 46 の各変更情報のいずれかの項目内容に変更があった場合、当該「変更情報フラグ」に「1」を、「変更年月日」にその西暦年月日を収録します。

(5) 廃止傷病名が復活する場合

	変更区分	マスタ種別	傷病名コード	移行先コード	傷病名基本名称	病名管理番号	病名交換用コード	廃止年月日	病名交換用コード (変更情報)	移行先病名管理番号
廃止	9	B	0170015	8841387	皮膚症状結核	Null	Null	20030531	0	20084288



復活	2	B	0170015	Null	皮膚症状結核	20074311	DACB	99999999	0	Null
----	---	---	---------	------	--------	----------	------	----------	---	------

※ 傷病名表記の検討の結果、廃止した傷病名を復活（病名表記が同じまま復活）した場合は、従前の傷病名コードにより新設としています。

なお、旧傷病名管理ファイルについては、当該廃止傷病名レコードを削除して提供しています。

II 傷病名マスターの補足説明

1 傷病名の異字体等の統一

次の異字体、かな漢字表記法については、傷病名に使用する場合、表記を統一しています。

異字体	統一語	異字体	統一語	異字体	統一語	異字体	統一語
齧蝕	う蝕	拇	母	頸	頸	歇	欠
髮	髮	癆	ろう	膻	膻	條	条
彎	弯	窿	隆	鈎	鈎	疝	仙
臀	殿	穹窿	穹隆	靱	靱	臟	臟
弓隆	穹隆	え死	壊死	鼠	鼠	糜	び
殼	殼						

2 傷病名の表記等について

(1) 傷病名の「症」の有無

傷病名の「症」の有無については、次のとおりとしています。

- ・症なし：「結核」「～パチー」「～トロフィー」「梗塞」「うっ血」
- ・症あり：「狭窄」「閉塞」「血栓」「塞栓」「閉鎖不全」「硬化」
- ・例外：「骨形成不全症」「視野狭窄」「気道閉塞」など
個々の病態等で、若干、相違する場合があります。

(2) 足指及び手指に関連する傷病名の表記

- ・足の指は、「趾」に統一しています。
(読みを「シ」としています。)
- ・手の指は、原則、「手指」に統一しています。
(読みをは「シュシ」としています。)

3 傷病名変更及びコード設定のルール

傷病名表記統一の考え方から、傷病名表記が変更となった場合は、新規傷病名として新コード(7桁)を振り出すことを原則としています。「かな表記を漢字表記に変更」のような比較的軽微な変更については、新コードは振り出しません。

なお、新コードは、空コードの範囲(8830028～8940002)に、意味付けのないユニークなコードを振り出しています。

4 単独で使用を禁止する傷病名等の識別区分

包括的で部位の判断がつかない傷病名やその傷病名单独ではレセプト表示等に使用することが望ましくないと判断される傷病名等に識別情報を設定しています。

「単独使用禁止としている傷病名の事例」

- ① 「骨折」、「腫瘍」、「打撲傷」など (単独使用禁止区分)
傷病名コードと併せて、修飾語コードによる部位等の記録を要する。
- ② 「健康診断」、「予防接種」など (保険請求外区分)
傷病名コードと併せて、別の傷病名コードの記録を要する。

(参考) 傷病名マスターと「ICD10 対応標準病名マスター」との対応関係

【ICD10 対応標準病名マスター】



※ #付の項目は標準病名マスターとの共通項目